

# わが家のアイドル

白浜にお住まいの

白谷 純一さん・あすかさんの

長男 **将人** くん(11か月)  
 二男 **隼人** くん(11か月)  
 三男 **優人** くん(11か月)

はじめまして！  
 左から ゆうと、はやと、まさとです。  
 いつでも どこでも 一緒の3人。  
 一番好きな事は、外に出てお散歩。  
 毎日 たくましく成長しています！



下田市はあいさつ運動実践中

不思議だね あいさつするといい気分



## 下田市内の指定文化財

その44

下田市指定史跡

洗田遺跡

所在地 吉佐美

指定日 昭和49年3月20日

洗田遺跡は、大賀茂川中流域の水田を見下ろす丘の上にあります。古墳時代の祭祀遺跡として考古学者のあいだでは全国的に有名で、下田市の史跡に指定されています。



洗田遺跡 遠景

遺跡は、地元吉佐美区の青年団によって大正15年に発見されたといえます。昭和2年には、内務省神社局に勤務していた考古学者大場磐雄氏（後の國學院大学教授）によって、学会に紹介され、多くの人に知られることになりました。

昭和12・13年に同氏によつて実施された発掘調査では、

勾玉や青銅の鏡、剣形の石製

品、土器などが多数出土しました。

近隣の神社や遺跡の眼前にそびえる三倉山の踏査も併せて実施され、調査報告が考古学雑誌に掲載されました。

その考察は従来みられなかった斬新なものでした。

出土遺物から遺跡は集落跡ではなく、古墳時代の人々が

神まつりを行った遺跡（祭祀遺跡）であるとし、勾玉などの種類が大和（奈良地方）のもの

と類似すること、そして、大和の大神神社の御神体である三輪山に似た円錐形の美しい山容をみせる三倉山に注目し、

遺跡は、古代人が三倉山に降りた神を祀った遺跡であると考えました。さらに、



洗田遺跡出土品  
 (國學院大学考古学展示室)

「賀茂」という地名にも着目し、これは大和葛城地方の古代豪族である賀茂（加茂・鴨）一族が海を渡つて南伊豆に移住したことを示す地名であると推察しました。

大場氏は洗田遺跡の発掘成果を原点に研究を進め、やがて神道考古学という研究分野を大成しました。

大場氏は洗田遺跡の発掘成果を原点に研究を進め、やがて神道考古学という研究分野を大成しました。



三倉山の山容

洗田遺跡は、伊豆半島の南部にある小さな遺跡ですが、古代祭祀の研究者だけでなく、下田市を含む南伊豆地域の歴史研究においても大変重要な意味を持っています。

アクセス 伊豆急下田駅より南伊豆方面バス 大賀茂口下車徒歩10分

問合せ先

教育委員会生涯学習課

☎ 5055

